

保健体育科（保健）学習指導案

1 単元

健康な生活と疾病の予防② 喫煙の害と健康

2 単元の目標（評価規準）

（1）知識・技能

- ①健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解している。
- ②疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。

（2）思考・判断・表現

- ①健康の成り立ちについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現している。
- ②予防の仕方について思考し、グループでまとめて表現している。

（3）主体的に学習に取り組む態度

- ①健康の成り立ちについての学習に自主的に取り組もうとしている。
- ②疾病の予防についての学習に積極的に取り組もうとしている。

3 単元の指導計画

- 第1時 生活習慣病の起こり方
- 第2時 生活習慣病の予防
- 第3時 がんの予防
- 第4時 喫煙の害と予防
- 第5時 飲酒の害と健康
- 第6時 薬物乱用の害と健康
- 第7時 薬物乱用の社会的な影響
- 第8時 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処

4 本時の目標（評価基準）

（1）知識・技能

- ①喫煙の健康への害について学習カードに書き出している。

（2）思考・判断・表現

- ①タバコに含まれる有害物質について考えを深め、喫煙者に誘われた時の断る勇気や吸わない判断ができる。
- ②喫煙と健康について、習得した知識をもとに

（3）主体的に学習に取り組む態度

- ①発育発達期での影響を学習したうえで20歳未満の喫煙者をなくすために周囲で20歳未満の喫煙者を見つけた時に注意できる力を養う。

45	1 1. 本時のまとめ	○学習カードに記入 (喫煙の健康の害について記入する。)	振り返り	
50	1 2. 挨拶			